

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	淡路市
共同提案者名	(株)ほくだん、シン・エナジー(株)
選定回	第1回
重点選定モデル①	
重点選定モデル②	

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	産業振興・トランジション、その他（地域課題解決）
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	産業団地、その他（需要家・エリア設定）
創出する再エネの種類・導入技術等	太陽光発電（導入方法等に工夫があるもの）、熱利用

交付金の交付を受けて交付対象事業が開始された年月	2022/5/11
--------------------------	-----------

1.基礎情報（計画の変更箇所）	
<p>【令和4年度進捗報告票】より                      ファーマライズへのカーポート型太陽光発電導入の計画については、カーポート設置の見直しの必要性が出たため、令和5年度に隣接施設屋根上を借りて設置（自営線による送電）する計画へと変更予定である。</p> <p>【令和5年度進捗報告票】より                      プライミクス社社宅について、カーポート型太陽光発電導入の計画だったが、社宅駐車場の利用状況について詳細に打合せを行った結果、駐車台数の確保と利用者（社員）の事故防止の観点から、導入は見送る事となった。（※計画作成当初から、社宅の屋根上は耐荷重制限の制約により導入対象外としている。）                      社宅のみでの再エネ供給については一旦見送る事とし、本業の工場の脱炭素と合わせて取り組む事で合意している。</p>	

<選定当初の計画値との比較>

種類	(E) 現在の 計画値	(F) 選定当初の 計画値	(E)-(F) 現在と 選定当初の 計画値の 比較
民生部門の電力需要量 (kWh/年)	22,833,340	22,833,340	0.0%
再エネ等の電力供給量 (kWh/年)	12,422,340	12,422,340	0.0%
省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	10,411,000	10,411,000	0.0%
自家消費等の割合 (%)	52.8%	52.8%	0.0%
「再エネ等の供給量の合計」のうち先行地域のある 地方公共団体内で発電する再エネ電力量の割合 (%)	100.0%	100.0%	0.0%

2-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left( \frac{2,273,465}{519,108} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div 22,833,340 (\text{kWh/年}) = 2 (\%)$$

種類	民生部門の 電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等 による 電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相対契約	再エネ メニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	2件	408,902	0	0	0	0	0	0		
民生・ 業務その他	オフィス ビル	1件	17,172,000	0	0	0	0	0	0		
	商業施設	1件	280,320	67,000	0	0	0	67,000	0	29 計算には関西電力2022年度実績CO2 排出係数の調整後排出係数を使用	
	宿泊施設	1件	210,240	0	0	0	0	0	0		
	その他	4件	4,100,816	87,108	0	0	0	87,108	0	38 計算には関西電力2022年度実績CO2 排出係数の調整後排出係数を使用	
公共	公共施設	1件	661,062	365,000	0	0	0	365,000	0	158 計算には関西電力2023年度実績CO2 排出係数の調整後排出係数を使用	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計			(C) 22,833,340	519,108	0	0	0	(A) 519,108	(B) 0	225	

2-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
0	92	482							574

※対象年度中に導入完了した、先行地域事業による新規再エネ設備について記載してください（交付金充当の有無は問いません。）。

3.電力需要家との合意形成の状況

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	南鶴崎団地	4棟	D	合意形成前_再エネ電力メニューの構築で販売条件を見定めてから市所管課との協議を本格化する。令和7年5月を予定。
2	プライミクス社宅	8棟	D	先方とは事業外計画などで工場の脱炭素と合わせて取り組む方針で合意済み。計画の具体化について、今後調整していく。

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	聖隷こども園夢舞台	1棟	A	令和6年3月に完成し、太陽光発電の自家消費を開始済。
2	AIE国際高等学校	1棟	A	令和6年3月に完成し、太陽光発電の自家消費を開始済。
3	聖隷淡路病院	1棟	B	最終的なPPA単価決定の為の工事費積算中。10月にはPPA契約を締結見込みで11月着工、2月末工事完了、3月試運転・調整、4月1日運転開始というスケジュールを予定。
4	関西看護医療大学（新設予定施設）	1棟	B	ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れにより、設計の見直しを余儀なくされた。現時点で大学と設計業者にてZEBReady対応の設計検討中。令和6年度も施設計画の進捗に合わせて情報交換しつつ進める。
5	パソナグループ（新設予定施設）	1棟	B	当初計画では、令和7年4月供用開始を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れや、大阪・関西万博等をはじめとした大型工事が全国各地で実施されている影響により、ゼネコン事業者の選定に遅れが生じ、再設計・施工に関する再協議が必要となり、想定以上に時間を要している。引き続き、実施事業者と今後のスケジュール等について、協議していく。
6	ファーマライズ	1棟	B	令和6年7月に工事費見直しの為の仕切り直し協議を実施し、9月末時点で新たなPPA単価で内諾済み。10月中旬までに契約書を取り交わし、11月着工、令和7年1月末完工、2月運用開始見込み。
7	東浦花の湯	1棟	D	施設の支配人へはボイラーを脱炭素化する計画と合わせて、電力についても(株)ほくだん再エネメニューでの供給という事については説明済。今後再エネメニューの詳細が決まり次第、費用的メリットなど含めて電力契約について協議をする。

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	国営明石海峡公園	1箇所	A	令和6年5月着工済み。現在電気設備の接続点についての最終協議中のため、完工時期が11月末予定から、最大で2月末完工へとズレ込む可能性有るものの、国交省側とも共通認識の上で、年度内に確実に完了出来る様に進めている。

4-1.民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現に向けた進捗状況

【再エネに係るもの】

■取組1：聖隷こども園夢舞台自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計、工事完了		運用						
	目標値 (単位:kW)	単年度	51							
	累計		51	51	51	51	51	51	51	51
状況	工程	設計、工事完了		令和6年3月運用開始						
	実績 (単位:kW)	単年度	42	0						
	累計		42	42	42	42	42	42	42	42

取組概況	令和6年3月14日に検収し、同日運用を開始した。 蓄電池は50kWh
------	---------------------------------------

■取組2：AIE国際高等学校自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計、工事完了		運用						
	目標値 (単位:kW)	単年度	50							
	累計		50	50	50	50	50	50	50	50
状況	工程	設計、工事完了		令和6年3月運用開始						
	実績 (単位:kW)	単年度	50	0						
	累計		50	50	50	50	50	50	50	50

取組概況	令和6年2月29日に検収し、同日運用を開始した。 蓄電池は60kWh
------	---------------------------------------

■取組3：明石海峡公園自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計、工事、完工							
	目標値 (単位:kW)	単年度		580						
	累計			580	580	580	580	580	580	580
状況	工程		着工準備	工事中	運用開始予定					
	実績 (単位:kW)	単年度		421.52						
	累計			421.52						

取組概況	421kWカーポート型太陽光発電及び、蓄電池200kWhでの実装となる。 令和6年5月着工し、カーポート型太陽光発電部分の設置は完了。現在、電気設備の接続点についての詳細を調整中。 令和6年11月末完工予定から時期ズレし、最長で令和7年2月末完工、3月試運転、4月運用開始というスケジュールへ変更となる可能性があるものの、調整事項は一つずつ決定している状況もあり、早期完工を目指している。
------	--

■取組4：ファーマライズ自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計、工事完了		運用						
	目標値 (単位:kW)	単年度	213							
		累計	213	213	213	213	213	213	213	213
状況	工程	設計、PPA単価最終合意		工事	運用開始予定					
	実績 (単位:kW)	単年度		60						
		累計		60						

取組概況	<p>当初の敷地内駐車場でのカーポート型太陽光発電計画から、隣接敷地の聖隷こども園夢舞台屋根上の空きスペースを借り受けて設置する計画へと変更。スペースの制約から太陽光発電213kWを60kWへと変更する事となった。なお、60kW太陽光では設備利用率がほぼ100%となり、余剰電力が発生しない為、蓄電池の導入が不要となった。</p> <p>令和6年7月に工事費見直しの為の仕切り直し協議を実施し、9月末時点で新たなPPA単価で内諾済み。10月中旬までに契約書を取り交わし、11月着工、令和7年1月末完工、2月運用開始見込み。</p>
------	---

■取組5：プライミクス社宅自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	調査、設計、工事、完工			運用					
	目標値 (単位:kW)	単年度		163						
		累計		163	163	163	163	163	163	163
状況	工程	一旦見送り			計画策定	実装目標				
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	<p>当初、カーポート型太陽光発電導入の計画だったが、社宅駐車場の利用状況について詳細に打合せを行った結果、駐車台数の確保と利用者（社員）の事故防止の観点から、導入は見送る事となった。（※社宅の屋根上については計画作成当初から耐荷重制限の制約により導入出来ない。）</p> <p>社宅のみでの再エネ供給については一旦、見送る事とし、先方とは事業外計画などで工場の脱炭素と合わせて取り組む方針で合意済み。計画の具体化について、今後調整していく。</p>
------	---

■取組6：パソナグループ新設ビル自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	設計、着工、完工			運用					
	目標値 (単位:kW)	単年度			2677					
		累計			2677	2677	2677	2677	2677	2677
状況	工程	(調整中)								
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	<p>当初計画では、令和7年4月供用開始を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れや、大阪・関西万博等をはじめとした大型工事が全国各地で実施されている影響により、ゼネコン事業者の選定に遅れが生じ、再設計・施工に関する再協議が必要となり、想定以上に時間を要している。引き続き、実施事業者と今後のスケジュール等について、協議していく。</p>
------	---

■取組7：聖隷淡路病院自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計、着工、完工							
	目標値 (単位:kW)	単年度				1490				
		累計			1490	1490	1490	1490	1490	1490
状況	工程			工事	運用開始予定					
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	<p>詳細の協議の結果、北側駐車場が病院の影に入ってしまうこと、将来的な土地活用の可能性があることから、南側駐車場のみの426kWとした。その結果、設備利用率がほぼ100%となり、余剰電力が発生しない為、蓄電池の導入が不要となった。</p> <p>9月末現在、工事費積算中で10月中旬にPPA契約締結し、11月着工、令和7年2月末完工、3月試運転調整、4月運用開始見込み。</p>
------	--

■取組8：関西看護医療大学自家消費太陽光発電及び蓄電池

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		設計、着工、完工							
	目標値 (単位:kW)	単年度				531				
		累計				531	531	531	531	531
状況	工程			(調整中)						
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	<p>当初計画では、令和8年4月供用開始（キャンパスオープン）を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れにより、設計の見直しを余儀なくされた。現時点で大学と設計業者にてZEBReady対応の設計検討中。令和6年度も施設計画の進捗に合わせて情報交換しつつ進めている。</p>
------	--

■取組9：ため池太陽光発電導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	ゾーニング	合意形成、設計		順次設置	運用				
	目標値 (単位:kW)	単年度				50	250	700		
		累計				50	300	1000	1000	1000
状況	工程	ゾーニング	概算設計、合意形成	詳細設計	着工、完工予定	運用開始予定				
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	<p>自家消費太陽光発電設備容量の減少分のリカバリー策として、ため池太陽光発電の計画変更を検討。</p> <p>久留麻大池と黒田池の概算設計による系統接続申請について事業費概算の算出を行った結果、ため池管理関係者に還元が可能と見込み、これまでの経過から合意形成が可能であると考えている。</p> <p>令和7年度実装予定の久留麻大池に関して、令和6年12月末までに大卒の事業合意、池底の状況（深さ、地形、地盤固さなど）の本格的な調査、それに応じた設計（2か月）、令和7年2月に事業費見積を踏まえた関係者協議を行い、令和7年3月末までに合意締結を目指している。その後、令和7年4月1日以降、工事契約し、令和8年1月完工というスケジュールで取り組む。</p>
------	---

■取組10：営農型太陽光発電導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	ゾーニング	合意形成、設計		順次設置	運用				
	目標値 (単位:kW)	単年度				50	150	800		
		累計				50	200	1000	1000	1000
状況	工程	ゾーニング	合意形成、設計		順次設置予定	運用開始予定				
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	営農PVについて、600kW規模のPVを設置できる耕作放棄地がある。系統接続について関西電力送配電に事前相談をしたところ、問題ないという回答を頂いている。耕作放棄地の所有者とは継続的に協議させて頂く事をお約束出来ている。令和6年度では営農型PVの知見を持つ協力企業を選定し、具体的な現地調査に入る準備ができ次第、耕作放棄地の所有者と打ち合わせ予定。
------	--

■取組11：戸建て住宅太陽光発電導入

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	スキーム確立	合意形成、営業	順次設置	運用					
	目標値 (単位:kW)	単年度			2400	2400	2400			
		累計			2400	4800	7200	7200	7200	7200
状況	工程	スキーム確立	合意形成、営業予定	順次設置予定	運用開始予定					
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	先行地域対象需要家の自家消費型太陽光発電の取組と、系統利用再エネのため池事業の取組を優先している。前記事業の取組の目途がつく、令和7年度より検討を開始する予定。 ただし家庭向PPAスキームの形成については、淡路島内に本社を持ち、家庭用太陽光の導入実績多数の企業と連携した取組として実装する方向で検討を進める。
------	---

■取組12：既存再エネ買取事業

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程	告知準備	市広報掲載、受付	順次買取						
	目標値 (単位:kW)	単年度		300	300	300	300	300	300	300
		累計		300	600	900	1,200	1,500	1,800	2,100
状況	工程	小売電力事業としてのスキーム確立、告知準備予定	市広報掲載、受付予定	順次買取予定						
	実績 (単位:kW)	単年度		0						
		累計		0						

取組概況	令和3年度末以前から続く電力（燃料）価格の高騰の影響で、家庭向け小売電気事業を開始出来ない状況であったため、あわせて予定していた、卒FITの買取も行っていない。 令和6年度からは小売電気事業の収支改善の見込みであり、住民サービスとして、電力小売と卒FIT買取を連動した取組として展開する予定だが、まずは販管費と収益バランスの課題解決方法の検討を行い、令和7年度より取組みの開始予定。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【省エネに係るもの】 目標値：基準一次エネルギー消費量削減50%

■取組1：パソナグループ新設ビルZEBReady対応

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		合意形成	設計、完工	運用					
	目標値 (単位:%)	単年度			50					
		累計			50	50	50	50	50	50
状況	工程				(調整中)					
	実績 (単位:%)	単年度		0						
		累計		0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計		0						
取組概況		当初計画では、令和7年4月供用開始を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れや、大阪・関西万博等をはじめとした大型工事が全国各地で実施されている影響により、ゼネコン事業者の選定に遅れが生じ、再設計・施工に関する再協議が必要となり、想定以上に時間を要している。引き続き、実施事業者と今後のスケジュール等について、協議していく。								

■取組2：関西看護医療大学新設ビルZEBReady対応

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		合意形成	設計、完工	運用					
	目標値 (単位:%)	単年度			50					
		累計			50	50	50	50	50	50
状況	工程				(調整中)					
	実績 (単位:%)	単年度		0						
		累計		0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計		0						
取組概況		当初計画では、令和8年4月供用開始（キャンパスオープン）を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れにより、設計の見直しを余儀なくされた。現時点で大学と設計業者にてZEBReady対応の設計検討中。令和6年度も施設計画の進捗に合わせて情報交換しつつ進める。								

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

4-2.民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の進捗状況

■取組1：プライミクス社宅ヒートポンプ給湯器代替（目標値：500L設備の導入台数20台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査、設計、完工	運用						
	目標値 (単位:台)	単年度		20						
		累計		20	20	20	20	20	20	20
状況	工程		協議結果：一旦見送り	計画策定	実装目標					
	実績 (単位:台)	単年度		0						
		累計		0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計		0						
取組概況		ヒアリングの結果、敷地内での大規模な入替工事については電気室の構造から見て難易度が高く、工事費が想定以上となる可能性が高い。また再エネ取組同様、プライミクス社の本業である工場部分での再エネ取組を優先させたいとの事業者判断もあり、計画変更の可能性を含め、一旦時期を見送る。先方とは事業外計画などで工場の脱炭素と合わせて取り組む方針で合意済み。計画の具体化について、今後調整していく。								

■取組2：南鶴崎団地ヒートポンプ給湯器代替（目標値：500L設備の導入台数15台）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査、設計、完工								
					運用						
	目標値 (単位:台)	単年度			15						
		累計			15	15	15	15	15	15	15
状況	工程		一旦見送り				事業者選定検討、調査、設計完工				
	実績 (単位:台)	単年度			0						
		累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計			0						

取組概況	<p>太陽光発電導入事業を最優先とし、引き続き時期を見送る事としたい。当初計画では㈱ほくだんによるESCO事業として考えていたが、物価高騰による事業性の圧迫があり、検討を見送ってきた。また、シン・エナジーによる技術支援については、シン・エナジー自体がESCO事業を行った実績はあるが、上述の事業性圧迫の状況にあっては、よりヒートポンプに特化して効率的な事業を企画、設計出来る協力企業を探す必要があると考えている。</p> <p>今後、市内でヒートポンプ販売実績のある事業者を優先的に相談先とし検討を進めていく。</p>
------	---

■取組3：東浦花の湯竹チップボイラー導入（目標値：1台）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査、設計		合意形成、着工、完工			運用			
		目標値 (単位:台)	単年度			1					
		累計			1	1	1	1	1	1	1
状況	工程		調査、設計			合意形成	着工、完工 予定		運用開始予定		
		実績 (単位:台)	単年度			0					
		累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計			0						

取組概況	<p>»竹活用バイオマスプラントと木質バイオマスボイラーへの計画変更</p> <p>竹チップボイラーに関する経済性評価などから、竹チップボイラーではなく、竹活用バイオマスプラントによる木質チップ製造と、そのチップを利用する木質バイオマスボイラー設置による重油代替という計画へ変更予定。</p> <p>竹チップそのものではないが、東浦花の湯とその他熱需要家による計画で、竹の年間活用（＝消費）量を500tとする計画となっており、さらにこれまで市外企業へ委託して処理していた剪定枝などもプラスで市内活用（＝消費）する計画となっている。</p> <p>令和6年度中に事業スキーム確定、設備詳細決定し、令和7年度で関係者最終合意形成を行い、令和8年度完工、令和9年度より運用開始というスケジュールで進める。</p>
------	---

■取組4：聖隷淡路病院竹チップボイラー導入（目標値：1台）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査、設計			合意形成	着工、完工		運用		
		目標値 (単位:台)	単年度			1					
		累計			1	1	1	1	1	1	1
状況	工程		一旦見送り		別需要家選定	設計、合意、着工、完工		運用開始予定			
		実績 (単位:台)	単年度			0					
		累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計			0						

取組概況	<p>病院の熱需要について改めて協議を行った結果、ヒートポンプ給湯とガス給湯のバランスが、殆どヒートポンプ給湯に偏っている事が分かり、木質バイオマスボイラーの事業規模と合わない見込みとなった。</p> <p>現状は、東浦花の湯に記載している通り、市内の別の熱需要家の需要調査を行っている。</p>
------	--

■取組5：EVカーシェア、V2X導入（目標値：EV導入台数50台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程		調査、スキーム確立		合意形成	仕入、工事	運用			
	目標値 (単位:台)					50				
	単年度 累計					50	50	50	50	50
状況	工程		調査、スキーム確立		合意形成	仕入、工事	運用予定			
	実績 (単位:台)			0						
	単年度 累計			0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)			0						

取組概況	パナソニックと連携した取組を想定しており、PV導入、ZEBReadyの取組含めて、新設ビル建設の計画進捗と合わせて、導入具体化に向けた協議を行う予定。
------	---

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

5-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額（千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0	3,602	17,773	78,974	95,863	278,291	443,829	443,829
	累計	0	0	3,602	21,376	100,350	196,214	474,505	918,335	1,362,164
実績	単年度	0	0	1,855						
	累計	0	0	1,855						

5-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：夢舞台サステナブルパークにおける就業者数（人）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度				20	0	40			
	累計				560	560	600			
実績	単年度		-27							
	累計	568	541							

実績詳細	令和6年度9月末実績：年度末を基準に翌年度に各企業への就業者数調査によるため、現時点で表示不可。
------	--

■指標②：竹活用量（t）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	-	-	0	0	0	500			
	累計	-	-	0	0	0	500			
実績	単年度	-	-	0						
	累計	-	-	0						

実績詳細	※KPI再設定：竹チップ使用量から竹活用量へ（令和6年度より指標変更） （参考）過去の指標：竹チップ使用量（t） ・実績（単年度） 令和5年度：1t、令和6年度：3t（見込）
------	---

■指標③：EV車両普及台数（台）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度			26	30	30	60			
	累計			180	210	240	300			
実績	単年度		32							
	累計	122	154							

実績詳細	<p>令和6年度9月末実績：年度末を基準した兵庫県の導入実績を基に記載しているため、現時点で表示不可。 ※KPI再設定：最終年度変更（令和12年度から令和9年度へ）</p>
------	--

6.事業実施体制の現状

事業	事業者名	調整・協議状況 (設立準備、一般送配電事業者との協議等)	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
PPA事業	(株)ほくだん	個別需要家毎に調整を重ねている。なお、金融機関（みなと銀行）とはグリーンローン枠組みでの融資実行となった（初回案件：聖隷こども園夢舞台とAIE国際高校融資実行済）事で、今後の事業についても融資して頂ける事となっている。	詳細検討の結果として、それぞれの計画の太陽光発電設置容量が低下する事が分かっており、その代わりにため池太陽光発電を1,000kW追加（黒田池）する事とした。	PPA事業は20年契約だが、概ね14年かけでの投資回収となる。
自家消費太陽光発電事業	パソナグループ、関西看護医療大学		<p>パソナグループ新設ビルは、当初計画では、令和7年4月供用開始を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れにより、再設計・施工に関する再協議が必要となり、想定以上に時間を要している。引き続き、実施事業者と今後のスケジュール等について、協議していく。</p> <p>関西看護医療大学当初計画では、令和8年4月供用開始（キャンパスオープン）を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れにより、設計の見直しを余儀なくされた。現時点で大学と設計業者にてZEBReady対応の設計検討中。令和6年度も施設計画の進捗に合わせて情報交換しつつ進める。</p>	
再エネ発電事業	(株)ほくだん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留麻大池についてはR6年末にはため池管理者と合意し、R7年度末完工を目指す。</li> <li>・営農型は令和6年度中に利用できる補助金の検討と、共同で営農型PVの建設に当たれる事業者を選定する考え。</li> </ul>	現状2,000kWまでの系統利用再エネの運用について、小売電気事業上でも何とか収益が上げられる目途がついた。	
小売電気事業 (地域新電力)	(株)ほくだん	実施中	小売電力事業について令和6年度は事業収支が大幅に改善する見込み。これを機に家庭向けサービス（小売、PPA、卒FIT買取）の企画を再スタートさせる考え。	
EVシェアリング	三井物産(株)、シン・エナジー(株)、パソナグループ含めたパートナー体制検討中	パソナグループの本社移設の進行に合わせて協議予定。現在、本社移設工事内容の計画変更中にて協議保留中。		

※必要に応じて行を追加・削除してください。

## 7.事業継続性（横展開の可能性等の観点を含む）の見込みについて

### 事業継続性を見込み

太陽光発電導入事業については、(株)ほくだんによるPPAの取組は20年間に渡って契約・価値提供を行うスキームであり、事業終了後も本取組については継続される。PPAの取組については、需要家の電力の使い方と発電能力をベストマッチさせる事を大前提として、相対的に小売電気料金価格が高まったり、炭素税の導入などが進む状況であれば、民間事業者をはじめとして自家消費型太陽光発電の需要は伸びていくと考えている。

その他の系統利用市内再エネ電源（ため池太陽光発電など）についても、小売電気事業の一般需要家の伸びと再エネ電力を必要とする需要家の伸びをマッチさせる事で、最大限の導入を目指す取組は継続できると考える。

また、竹チップボイラー事業については、検証の結果、経済性が成り立たないという結論となった為、竹チップとしての消費という方針を変更し、広く竹の使用（＝消費）を伸ばす計画へと変更をする予定である。具体的には、竹及び剪定枝を原料として乾燥剪定枝チップ燃料を製造するバイオマスプラントを建設（令和8年度完工予定）し、熱需要家に設置する通常仕様のバイオマスボイラーで使用する事で、化石燃料使用量の低減を図り、他地域でも普及可能な脱炭素モデルの実現を目指す。

パナグループ新設施設の建設については、当初計画では、令和7年4月供用開始を予定していたが、ロシア・ウクライナ問題等を起因として、建設業において資材の価格高騰・納期遅れや、大阪・関西万博等をはじめとした大型工事が全国各地で実施されている影響により、ゼネコン事業者の選定に遅れが生じ、再設計・施工に関する再協議が必要となり、想定以上に時間を要している。引き続き、実施事業者と今後のスケジュール等について、協議していく。

### 自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

AIE国際高等学校の太陽光発電の取組は、神戸新聞に取り上げられ、市民認知度向上に寄与したと考えている。

なお、令和6年度完工予定の明石海峡公園カーポート型太陽光発電については、国営公園の電力の約60%を自家消費型太陽光で賄うことができ、来場者の利便性向上に資する取組であり、公園と協力して大々的にPRし、市内外の公益施設や一般企業駐車場等への波及を図る。

（自家消費太陽光発電導入の取組）

(株)ほくだんによる太陽光発電導入PPA事業は20年間に渡って契約・価値提供を行うスキームであり、事業開始から6年目以降も本取組については継続される。脱炭素先行地域づくり事業後については、本市と(株)ほくだんとで市内民間事業者への取組に注力し、確立されたモデル事業を脱炭素ドミノにより、民間波及へと繋げ、あわじ環境未来島構想に掲げるエネルギーの持続の実現を目指ため、市外へも本市の取組の波及を目指す。

（竹活用バイオマスプラント建設への取組）

地域課題である竹及び剪定枝を原料として乾燥剪定枝チップ燃料を製造するバイオマスプラントを建設し、熱需要家に設置する通常仕様のバイオマスボイラーで使用する事で、化石燃料使用量の低減を図り、他地域でも普及可能な脱炭素モデルを実現するための事業を推進する。

## 8.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

令和3・4年度に再エネ促進区域の設定等に向けたゾーニング事業を実施した。

本年度（令和6年度）に淡路市環境基本計画（事務事業編・区域施策編）の改訂を予定しており、ゾーニング結果及び脱炭素先行地域づくり事業の計画を盛り込むことを予定している。